



5. 消防隊の装備

消防車のしくみや、安全に火を消すための工夫を見てみよう。

火災などへ立ち向かう装備を見てみよう！

水槽のついた消防車に、ホースをつないで火を消します。水槽には、約2,000L [牛乳パック (1,000mL) 2,000本] の水をつんでいますが、火災の時は、5分ぐらいで全て使ってしまいます。したがって、水がなくならないように、近くの消火栓や防火水槽から水を吸い上げて使います。



① メーター

ホースに水を送る強さがわかります。

② 放水口

ホースをつなぎ、横についているレバーで水を送ったり、止めたりします。

③ 吸管

消火栓につないで水を吸い上げるホースです。

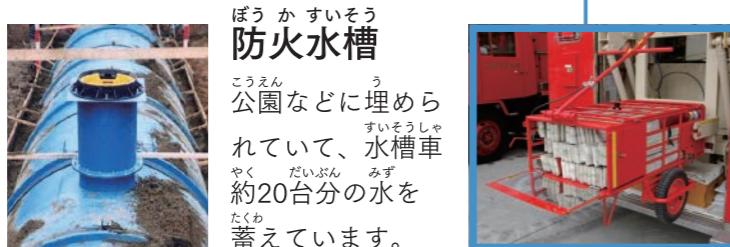


配水管につながっています。



④ ホースカー

約10本のホースをつむことができ、簡単にホースをのばすことができます（ホース1本の長さは約20mです）。



火災のデータ(2022年中(速報値))

市内の出動件数

387件
(1日あたり約1件)

建物が燃えた火災の件数

282件

火災を消すために使った水の量
2,292,734L

隊員は、炎や煙から身を守るために
さまざまな装備を身につけています。

⑤ 防火帽

火や水、落ちてくるものから頭を守ります。

⑥ キャップライト

火災現場では煙で見えにくいため、ライトを照らして活動します。

⑦ しころ

顔や耳を炎から守ります。

⑧ 手とび

壁などを破壊する時に使います（活動の目的に合わせてとびの大きさを変えます）。

⑨ 中長とび

壁などを破壊する時に使います（活動の目的に合わせてとびの大きさを変えます）。

⑩ 防火衣

水を通さず熱にも強い素材でできています。

⑪ 空気呼吸器

炎などを吸わないようにするために、面体をつけてポンベから送られる空気を吸って活動します。使用時間は活動時で約10～15分、普通の呼吸で約40分です。



⑫ 面体

炎や衝撃に強い長靴です。釘などを踏み抜かないように底に鉄板が入っています（約200度の熱に耐えられます）。



⑬ 現場用長靴

炎や衝撃に強い長靴です。釘などを踏み抜かないように底に鉄板が入っています（約200度の熱に耐えられます）。

⑭ 携帯警報器

隊員が動けなくなった時に感知して警報音があり、ほかの隊員に知らせます。

⑮ 携帯無線機

現場の情報を伝えたり、活動の結果を報告するなど離れている隊員同士の通信に使います。

訓練のようす

いつでも火災現場に行けるようにホースをのばして水を出す消火訓練や、はしごなどをのばして人を救出する救助訓練などを行っています。



ドローン

ドローンを配備して、上空からの情報収集や捜索を行っています。

火災のほかにも、ガスがもれていたり、ガソリンや灯油が大量にこぼれたりした時も出動するんだ。

札幌市公式ホームページでも確認しよう！ 「消防出動情報」のページ

